



22世紀に緑の遺産を贈る
県民運動
にいがた「緑」の百年物語

平成30年度

事業報告書

公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

事業報告

当委員会の「にいがた緑の百年物語県民運動」と「緑の募金」の事業推進について、公正、公平、透明性をもって取り組んだ。取り組むに当たっては、収支相償を財政運営の基本として、会員と緑の募金の拡大による財源の確保と予算執行の効率化を図り、円滑な組織・事業運営に努めた。本年の事業実施は、新潟県、市町村等行政機関との連携を図りつつ、企業や緑化団体等広範な県民の協力を得ながら、以下に掲げる重点事項を中心として、地域組織の活動を推進した。緑の募金の浄財は、協賛企業・団体と共に、地域の拠点となる協働による森づくり、豪雨災害等の被災地の緑の復興活動、次世代を担う子どもたちの育成、ボランティア団体の緑化活動等を助成・支援した。また、「にいがた緑の百年物語」県民運動の一層の推進を図り、これまで理解を得た県民の輪を更に広げ、子供から大人まで世代を超えた多くの理解を得ながら県民参加の森づくりを推進した。

（平成30年度の重点事項）

- ① 組織基盤の確立と地域活動の推進
- ② 県民運動と緑の募金の普及啓発及び緑の遺産森づくりの推進
- ③ 次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進
- ④ 心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成

（単位：千円）

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 組織基盤の確立と地域活動の推進	2,890	2,438	△452	
○緑の守人（会員）拡充強化	250	57	△193	
○地域活動の推進	2,640	2,381	△259	

（1）会費収入及び会員加入状況について

企業団体等を対象とした緑の募金活動と連携した法人会員の拡大、地域組織（地域連絡会議等）との連携による新規会員加入促進と要請活動を実施・展開した。

平成30年度会費目標額：12,500千円（平成29年度実績額：12,043千円）
会費実績額（3月末現在）：11,880千円（目標達成率：94.4%）

表1 会費収入及び会員加入状況

（単位：千円、人）

区分	会費収入			会員数			備考
	計画A	実績B	B-A	計画A	実績B	B-A	
正会員	9,700	9,365	△335	610	579	△31	
賛助会員	2,800	2,515	△285	515	458	△57	
合計	12,500	11,880	△620	1,125	1,037	△88	

※平成25年度実績を実績目標とする。（資料1：会員・会費収入別内訳）

（2）地域活動の推進

- ・県内全域に設置した地域組織の活動強化を図った。
- ・地域緑化活動の先導役である地域推進員の活動を支援した。

(単位：千円)

	予算額(A)	決算(B)	増減(B-A)	備考
2 県民運動及び緑の募金の普及啓発と緑の遺産森づくりの推進	10,660	4,660	△6,000	
○県民運動及び緑の募金の啓発活動	2,560	2,150	△410	
○緑の遺産森づくり及び植樹祭等の開催	4,600	1,132	△3,468	
○地域の森づくり	3,500	1,378	△2,122	

(1) 県民運動の普及啓発

会報やイベント情報、ホームページなどによる情報発信力を維持・強化し、県民運動の推進と啓発活動を実施。

① 情報の発信

- ・会報誌：春号（新会報第13号） 「森が育つ、人が育つ 春」
：秋期（ 〃 第14号） 「森が育つ、人が育つ 秋」 を発刊
- ・春期イベント情報発行： 139(131)件
秋期イベント情報発行： 143(150)件 掲載 ※（ ）は前年度実績
- ・ホームページに随時情報を掲載するとともに、メディアと連携し、緑化団体の活動情報を発信、併せて県民運動の啓発と会員募集活動を実施
- ・林業情報誌「林業にいがた」の紙面を活用し、ボランティア活動や県民運動の情報を提供

② 森林セミナーの開催

- ・日時・場所：平成30年6月15日（金）新潟県自治会館講堂
- ・講演：「人間活動が森林景観や樹木形態に及ぼす影響」
講師：鈴木和次郎氏（只見ユネスコエコパーク専門監）

(2) 緑の遺産森づくり植樹活動の開催

- ・日時：平成30年11月3日（土）9：00～
- ・場所：胎内市中村浜・笹口浜地内海岸林、参加者170人

(3) 地域の森づくりの推進

県内各地域の地域組織が主体となり、緑の募金事業や国土緑化推進機構の公募事業を活用し、県民運動の拠点と啓発につながる地域の森づくり事業の実施を支援した。

(単位：千円)

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
3 次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進	30,800	25,350	△5,450	
○各種団体からの受託事業等による緑化活動支援	1,300	856	△444	
○寄付金によるにいがた森づくり事業	350	314	△36	
○緑の募金による緑化助成事業（一般）	27,000	19,391	△7,609	
○緑の募金による企業の森づくり（特定）	2,000	4,661	2,661	
○緑の募金による特定助成事業推進費（特定）	150	128	△22	

(1) 緑化活動の推進

各種団体等の受託事業や緑の募金、寄付金等を原資とした助成事業により、ボランティア団体等の森林整備活動及び緑化活動支援を実施中。また、企業等からの寄付金(使途限定緑の募金)を受け、企業等と地域との協働による「企業の森づくり」を推進した。

(2) 緑化助成事業の実施状況

事業名	事業内容	平成30年度実績	前年度実績	資料No.
ゴルファー緑化促進事業	(公社) ゴルフ緑化促進会交付金による助成事業	助成件数 1件	助成件数 1件	2-1
ボランティア保険料助成事業	緑化活動のボランティア保険料を助成	19件	19件	2-1
にいがた森づくり事業	啓発効果の高い森づくり事業	2件	2件	2-5
緑百年緑化助成事業小計		22件	22件	
「緑の募金」森づくり事業	学校林の整備や地域住民及び緑化団体等による森づくり活動を助成	96件	106件	2-2
「緑の募金」記念植樹事業	集会施設、公園等で地域住民が参加して行う記念植樹用苗木を助成	104件	97件	2-3
企業の森づくり事業	企業協賛募金による企業の森づくり及び企業協賛の森づくり事業	8件	6件	2-4
地域の森づくり事業	地域組織主体に構成団体と連携し、県民運動の啓発につながる活動を助成	4件	6件	2-6
緑の募金緑化助成事業小計		212件	215件	
緑化助成事業計		234件	237件	

(3) 緑化助成事業の審査等について

- ・緑化助成事業審査会（地域の森づくり事業は除く）の開催状況

4月24日：第1回審査会（69件） 7月24日：第2回審査会（25件）

9月20日：第3回審査会（5件）

- ・審査状況

申請手続きや書類の不備、目的の妥当性、申請内容（植栽樹種、時期、樹木・資材の価格等）を重点に審査し、疑問な点は再確認し、必要な場合は訂正の上で採択。

- ・現地調査会の実施

日時・視察箇所：9月20日、柏崎市等の助成箇所を調査

参加者：審査会審査員5名及び事務局4名

調査内容：現地の状況、樹木の育成環境等

(単位：千円)

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
4心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成	16,000	15,348	△652	
○緑の募金の普及啓発と募金活動の推進	9,000	8,466	△534	
○緑の少年団等の育成支援	7,000	6,882	△118	

(1) 緑の募金普及啓発活動の強化

ステッカーを貼っての街頭募金活動や各種イベントでの募金活動、ポスター・チラシ等の募金資材を活用したほか、新聞、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し運動の周知に努めた。

また、ホームページの活用によるタイムリーな情報発信の強化を図った。

①普及啓発活動（褒賞事業）

○緑化功労者表彰

- ・緑化功労者理事長表彰：松沢みどりを守り隊ほか3団体、1個人
- ・緑の募金表彰：佐和田緑の少年団ほか1団体

※地方植樹祭で表彰

○ポスター原画・標語コンクールの実施

- ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクール表彰

（原画の部）：優秀賞 新潟大学教育学部附属新潟中学校3年 高野真衣ほか奨励賞10作品

（標語の部）：優秀賞 佐渡市立加茂小学校5年 石川美夕ほか奨励賞9作品

②地方植樹祭等の開催支援

- ・「第59回岩船林業振興祭(村上市神林地区)」(10月10日) 参加者280人
- ・「第11回森と緑の感謝祭(妙高市米島新田地区)」(10月6日) 参加者250人
- ・「第46回佐渡地方植樹祭(佐渡市佐和田地区)」(10月5日) 参加者150人

(2) 緑の少年団の育成及び緑の学校の支援等

緑の少年団の結成や活動等の支援及び子供たちを対象とした緑の学校の開催について支援。

① 緑の少年団の育成

緑を愛する心豊かな少年・少女を育てることを目的として結成された緑の少年団の活動を支援。

② 緑の学校支援

県と地域組織が連携して行う次代を担う子供たちを対象とした森林学習の機会の提供を目的に開催する「緑の学校」を支援。

開催実績：11校 284名（前年度：17校 参加人数462名）

（単位：千円）

事業名	H29年度実績	H30年度実績	備考
結成支援事業	0	107	H26年度団員数：50団体：2,348名
活動支援事業	2,904	2,926	H27年度団員数：50団体：2,417名
交流集会事業	3,009	3,455	H28年度団員数：49団体：2,268名
緑の学校助成事業	504	394	H29年度団員数：49団体：2,094名
合計	6,417	6,882	H30年度団員数：47団体：2,075名

(3) 多様な緑の募金活動の実施

① 春期募金活動

春期募金は、家庭募金を柱として、学校募金、職場募金など多様な募金活動を展開。ポスター・チラシ等の募金資材を活用。また、新聞、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し募金や県民運動の周知に努めた。

② 秋期募金活動

9月1日から始まった秋期「緑の募金」は「緑化活動は継続が力である」との思いのもと、目標額を16,000千円と定め、災害に強い森づくりや拠点となる森づくり、そして子ども達の育成を掲げ、県民参加の森づくりへの啓発を行った。特に企業・団体等に対してする協力要請と各種イベント等での募金活動を重点に実施した。

ア 募金目標額と募金実績

平成30年度緑の募金目標額：70,000千円（平成29年度実績額：60,611千円）
 平成30年度緑の募金実績額：62,322千円（対前年実績比102.8%）

（単位：千円）

年度	家庭募金	家庭募金 以外計	内 訳					募金総額
			学校	職場	企業	街頭	その他	
H29実績	42,197	18,414	2,970	4,187	10,002	307	948	60,611
H30実績	41,871	20,451	2,822	4,442	11,968	332	887	62,322
増減	△326	2,037	△148	255	1,966	25	△61	1,711
前年比%	99.2	111.1	95.0	106.1	119.7	108.1	93.6	102.8

イ 緑の募金状況

- ・家庭募金は依然として減少傾向（前年比99.2%）にある。募金額は全国8位にある。

① 全国の状況

- ・前年比97%と前年度を下回る。家庭募金が柱となっているものの、減少傾向。大都市では不振。家庭募金推進体制が確立している長野、埼玉、静岡県などの関東中部ブロックや鹿児島、福岡などの九州ブロックの募金は堅調。国推の中央募金は、好調が続いている。

② 新潟県の状況

- ・柱の家庭募金は年々減少。特に、新潟市の区制施行を機に実施を取りやめる区が発生したことから、影響が続いている。
- ・企業のCSRに対する関心の高まりから増加してきた企業募金も、企業の意向や経営を取り巻く環境等に左右され不安定で、平成25年度から募金目標額を大きく割り込んでいる。

③ 「緑の募金」（春期・秋期）実施状況及び結果について

- ・家庭募金を柱に、学校募金、職場募金等の多様な募金活動を展開。ポスター・チラシ等募金資材の活用、新聞・広報誌等の普及啓発活動により、広く県民に対し運動の周知に努めた。
- ・柱である家庭募金は若干低調、企業募金は前年増。全体で前年実績比102.8%と健闘している。
- ・企業募金は企業の思惑や納金する時期により大きく動くなど大変不安定。

（参考：全国の状況）

- ・中央募金：一般募金、東日本大震災復興事業用途限定募金を含めた合計約389百万円（前年同期比103%）。都道府県募金：1,660百万円（対前年同期比95%）。この結果合計額では20億49百万円（対前年同期比97%）となっている。

（5）国土緑化推進機構事業の活用

○7 地区で実施

- ・森林環境教育促進事業（朝日中学校）
- ・学校環境緑化モデル事業（聖籠中学校）
- ・緑の募金直接事業（三条市）
- ・子供たちの未来の森づくり事業（佐渡市）
- ・ゴルファー緑化事業（十日町美人林）
- ・災害に強い森づくり事業（胎内市、阿賀野市）